

## 問題【英語】

次の文章の（ ）に、適切な日本語をローマ字表記で入れましょう。

In Japan, it rains a lot in June. This rainy season is called ( ) in Japanese. During the period, we have about one-fifth of annual rainfall. You may feel uncomfortable, but this rain enables rice to grow. Because Japanese eat rice, it is essential for us.

注：period … 期間

one-fifth of annual rainfall … 年間降水量の5分の1の雨

uncomfortable … 不快な

enable A to do … Aが～できるようにする

essential … 必要不可欠な

## 豆知識 雑学コラム

### いろいろな雨を英語に

6月は梅雨の時期というイメージがあるでしょう。雨が続いて気分もなかなか上がりにくい時期ですが、元に戻った学校生活の中で新しい友達を作っていくと、自然とこの時期の生活が楽しくなると思います。

本文では様々な「雨が降る」の表現を使いました。単純な It rains. でも「雨が降る」という意味ですが、英語でより一般的なものは We have rain. という形の表現です。他にも There is rain. と表せます。「雨が降っている」という意味の形容詞 rainy を使って It's rainy. とすると、ちょうど今降っているイメージになるので、ここまで見た「雨が降る」のイメージとは違いますね。気をつけましょう。

雨の降り方を言い分けるにはどうすればいいでしょうか。一つの方法は、a lot や a little、あるいは heavy や light などの修飾語を使うことです。これ以外にも、動詞を変えることで、雨の降り方を言い分けることができます。たとえば、ポツポツとした小雨なら drizzle を、ザーッと土砂降りなら pour を使うとよいです。

例文で確認してみましょう。「土砂降りの雨が降っている」を英語にすると、It's raining a lot. / It's pouring down. / We're having a heavy rain. / It's raining cats and dogs. などのように表せます。最後の文で出た rain cats and dogs は「土砂降り」という意味の慣用句です。雨の降り方に猫や犬が登場するのは面白いですね。

本文では「雨が降る」を意味する表現をいくつか使いましたが、英語の長文では同じ内容を反復するときに違う言葉や表現を用いる、ということが一般的に行われます。In June も The rainy season と書き換えられ、その次には During the period と言い換えられていましたね。

日本語の文で同じ言葉を繰り返すと読みにくくなりますが、英語の文でもそうなんだ、と知ってください。そして、英文で同じ内容を的確に把握するために、単語や熟語を習ったときには類義語を意識してみましょう。今までに覚えたものと、今から覚えたいものが結びつくので、暗記もしやすくなります。